

都道府県名：宮崎県 団体名：特定非営利活動法人 大淀川流域ネットワーク

地域

大淀川流域ネットワークは、九州でも有数の一級河川である大淀川流域で活躍されています。大淀川は、その源を鹿児島県曾於市末吉町中岳に発し、都城盆地に出て、霧島山系等から湧き出る豊富な地下水を水源とする支川を合わせながら宮崎平野を貫流して日向灘に注ぐ、流域面積2230km<sup>2</sup>、幹川流路延長107kmの、6市6町1村にまたがる一級河川です。流域内の人口は約60万人であり、社会、経済、文化の基盤をなしているとともに、流域の一部が霧島錦江湾国立公園、九州中央山地国立公園の指定を受けるなど、自然環境や景観も特に優れています。

経緯

水質・水量が悪化し、昔のような人々が遊び親しんだ水量豊かで清らかな清流の面影が失われつつあった大淀川を昔の姿に戻そうと、流域内の住民や団体が参加して、NPO法人『大淀川流域ネットワーク』が平成16年に発足しました。発足以降、大淀川流域の河川環境保全や川づくり・地域づくり及び文化の向上を推進することを目的として活動しています。

功績内容

河川の環境保全等に取り組んでいる住民や団体、行政等と連携して、幅広い活動を行っています。代表的な活動としては、宮崎県とともに独自の水辺環境指標を作成し、河川浄化推進のための啓発活動を積極的に展開しているほか、児童をはじめとする県民を対象とした体験型環境学習の開催、県内外の技術者を対象とした多自然川づくり等に関する技術者研修会の運営を行っています。これらの活動に対し、平成26年3月に日本水環境学会水環境文化賞を受賞するなど、大淀川流域に留まらず、宮崎県の水環境や水資源の保全・創造に多大な功績をあげています。



小学校での水辺環境調査



五感による水辺環境調査



記録のしおり 水辺環境調査マップ



体験型環境学習



多自然川づくり技術者研修会